

細胞タンパク質イメージングシステム

1. 装置の概要

細胞タンパク質イメージングシステムは、共焦点レーザー顕微鏡を用いてバイオサンプル画像を撮影し、3次元画像内に含まれる情報を定量的かつハイスループットに解析する装置です。細胞スフェロイドのような重なり合った細胞でも3次元画像を取得することで、画像から細胞解析に必要な特徴量を抽出、定量することができます。画像取得と並行して定量・数値表示を行うことができ、さらにグラフから画像に戻って確認、繰り返し測定が可能です。また、解析プロトコールは利用者独自のものを作成することができます。なお、培養用装置は付属していません。

2. メーカー名・装置名称

横河電機 共焦点定量イメージサイトメーターCQ1



3. 用途

- 蛍光画像からの細胞等のバイオサンプルの特徴量(細胞核数、顆粒数・サイズ)の定量

4. 仕様・構成

- ① 蛍光観察： レーザー：405/488/561 nm
- ② 観察倍率：4、10、20倍(培養容器による)
- ③ 培養容器：マイクロプレート、スライドガラス、カバーガラスチャンバ、ディッシュ
(観察前にご相談ください)
- ④ 特徴量：細胞数、細胞内顆粒数、輝度、体積、表面積、面積、周長、直径、球形度、円形度、他
(解析プロトコールは利用者に作成していただきます)
- ⑤ 制御部：専用ワークステーション OS：Windows7